

1. 環境保全に関する基本方針

【関西電力グループ環境方針】

関西電力グループは、「関西電力グループ行動憲章」に基づき、社会から信頼される企業グループであるために、ステークホルダーのみなさまとの協働により、よりよき環境の創造を目指し、持続可能な社会の構築に積極的に貢献します。

1. 環境法令等の遵守

関西電力グループは、環境法令等を遵守します。

2. 気候変動への対応

関西電力グループは、気候変動問題を経営上の重要課題として認識し、事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロとするとともに、お客さまや社会のゼロカーボン化を目指す中で、温室効果ガスの排出削減に向け積極的に取り組みます。また、気候変動の悪影響にあらかじめ備える適応に取り組みます。

3. 資源循環の推進

関西電力グループは、天然資源が限りあるものであることを認識し、事業活動において天然資源の消費を抑制し、3R活動に積極的に取り組むとともに、資源循環に貢献する商品・サービスを提供することで、社会全体の資源循環に向けた取り組みを推進します。

4. 地域環境の保全

関西電力グループは、地域環境の保全を推進するために、事業活動において、環境汚染の予防を図るとともに、有害物質の厳正な管理および低減に取り組みます。

5. 生物多様性の保全

関西電力グループは、生物多様性の重要性を認識し、事業活動に伴う影響を適切に把握・分析・評価し、生物多様性の保全に取り組みます。

6. 環境コミュニケーションの推進

関西電力グループは、環境意識啓発および環境情報の公開に積極的に取り組みます。

7. 継続的な改善

関西電力グループは、環境パフォーマンスの向上に向けて、環境管理システムの継続的改善を図ります。

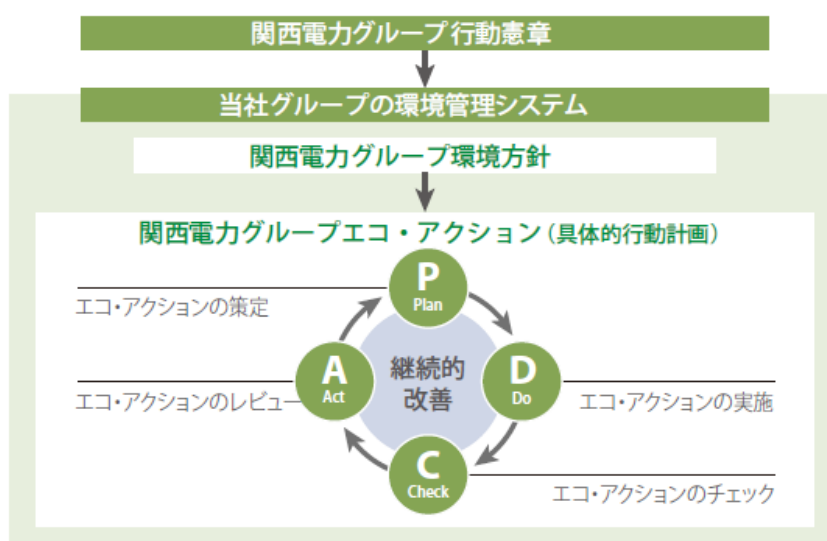
2. 環境保全に関する組織の現状

当社では、環境管理責任者である社長のもと、部門、組織単位で責任者を設置し、環境管理を推進しています。

原則年2回開催する「サステナビリティ推進部会」では、環境管理システムに係るマネジメントレビューを行い、審議結果については、環境管理システムに反映していきます。

グループ会社については、「関西電力グループ環境管理委員会」を原則年1回開催し、当社グループの環境管理活動の推進に関する事項等についてコミュニケーションし、必要に応じてサステナビリティ部会と連携を図っています。

◆ 関西電力グループの環境管理システム（P D C Aサイクル）



◆ 関西電力グループの環境管理推進体制



* 連結子会社80社および持分法適用会社4社のうち、関西電力送配電(株)および環境負荷の小さい会社等を除いた51社

3. 重点取組目標・計画

環境管理に関する具体的行動計画である「関西電力グループエコ・アクション」を策定し、取り組んでいく。

(1) オフィスの省エネ・省資源活動

- ・ 事務所電気使用量の削減

〔目標〕 1%以上削減（前年度比）

- ・ 生活用水使用量の削減

〔目標〕 極力低減

- ・ 車両燃費の向上

〔目標〕 極力向上

- ・ コピー用紙使用量の削減

〔目標〕 極力低減

(2) 気候変動への対応

- ・ S F 6 ガスの排出抑制（機器点検時・撤去時のガス回収率）

〔目標〕 点検時 97%、撤去時 99%

(3) 資源循環の推進

- ・ 産廃リサイクル率の維持

〔目標〕 99.5%

(4) 環境法令遵守

- ・ 重大な環境コンプライアンス違反件数

〔目標〕 0件

4. 地球温暖化対策に係る計画

①前年度（2022年度）の電気・燃料等の使用量および今年度（2023年度）使用予定量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	単位発熱量(MJ)	前年度(2022)使用量等	今年度(2023)使用予定量	単位	排出係数	排出量(kg-CO2)	
							前年度(2022)(実績)	今年度(2023)(予定)
燃料の使用	原料炭				kg			
	一般炭				kg			
	A重油				ℓ			
	B重油				ℓ			
	C重油				ℓ			
	LPG				kg			
	都市ガス				Nm ³			
	その他(廃棄物等)				kg			
	電気事業者から供給された電気の使用		1,730,090	1,712,789	kWh	0.309 (kg-CO2/kWh)	534,598	529,252
	熱供給事業者から供給された熱の利用				MJ			
	合計		1,730,090	1,712,789			534,598	529,252

②基準年度及び前年度の二酸化炭素排出量、今年度の二酸化炭素の排出削減目標（その他温室効果ガスが発生している場合はその排出量、排出削減目標も含む。）

温室効果ガス	排出量(kg-CO2)		対前年削減目標(目安)(kg-CO2)	対前年削減率(%)
	基準年度(1990年度)	前年度(2022年度)	今年度(2023年度)	今年度(2023年度)
二酸化炭素	—	534,598	529,252	▲1%
メタン				
一酸化二窒素				
HFC				
PFC				
六フッ化硫黄				
合計	—	534,598	529,252	▲1%

*2023年度排出量目標値(目安) = 2022年度実績(534,598) × 0.99 (▲1%減)

③目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策	削減目標
事務所における電気使用量の削減	○共用箇所(廊下等)の不要箇所消灯 ○照明の間引き	オフィスの電気使用に伴うCO ₂ 排出量を対前年度比1%削減する。
	○昼休みの執務室内一斉消灯(可能な範囲) ○退社時のパソコン・プリンターの確実な電源OFF	
	○従業員に対する環境意識啓発活動の実施	

5. 地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る計画

地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画は別紙1のとおり。

以 上

2023年度環境保全活動計画

活動分野	活動項目	目標
1 事業所等での節水	生活用水使用量における使用量の削減	極力低減
2 事業所等での廃棄物の適正処理・減量	コピー用紙購入量の削減	極力低減
	分別回収	徹底
3 事務所での再生製品の使用	オフィス用品のグリーン購入活動	可能な限り優先的に購入
4 環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	車両燃費の向上	極力低減
	エコドライブの推進	従適
5 社員教育	e-ラーニングを活用した社員教育の実施	従適
6 地域社会への参画	次世代層を対象とした出前教室(環境含む)の実施	22回
	神戸関電ビル周辺清掃の実施	6回
	フラワーロード清掃への参加	5回
	地域清掃への参加	2回